

(様式1)

このシート(必須1)～(必須4)は必ず入力が必要です

神奈川県マクカル展開促進補助金交付申請書

交付申請日

令和7年6月15日

神奈川県知事 殿

令和7年度の標記補助事業について、補助金の交付

半角数字で○/△と入力してください(自動的に和暦表示されます)

1 申請団体の概要

(1)ふりがな	まるまるちいきぶんかげいじゅつまつりじっこ			法人は法人格を含めて記入してください			
(2)申請団体名	〇〇地域文化芸術まつり実行委員会						
(3)代表者役職名	実行委員長			7桁の数字をそのまま入力してください(ハイフン不要)			
(4)代表者名(本名)	横浜 太郎						
(5)郵便番号	〒 231-8588		結果を郵送しますので、郵便物が届く詳細な住所を記入してください。団体名での登録をしていない場合は、〇〇方 まで記入してください。				
(6)所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 1						
(7)個人情報管理責任者名	川崎 花子			ハイフンをいれてください			
(8)連絡担当者の役職又は所属	会計						
(9)連絡担当者名	藤沢 一郎			② 070-XXXX-XXXX			
(10)電話番号	① 045-XXX-XXXX						
(11)E-mail	****@****.co.jp						
(12)団体設立年月	令和 6	年	3	月			
(13)構成員数	10	人					
(14)団体又は団体の主要な構成員の実績		実施年月		事業名・内容等	チラシ		
	①	令和 6	年	9	月	〇〇地域	全ての実績を網羅する必要はありません。 団体(又は団体の主要な構成員)が申請事業と同一分野における公演等の実績を有することが分かるように記入してください。 申請団体が主催でない事業の場合は、どのような関わり方をしたのかも記
	②		年		月		
	③		年		月		
(15)コンプライアンス(法令遵守)に関する考え方 ※個人情報保護、会計 税務、内部統制等	業務上知り得た個人情報は					具体的な項目は任意ですが、法令を遵守するため、どのような姿勢でどのような取組を行っているかを記入してください	

このシートは必ず入力が必要です

代表者の役職名と漢字は自動入力です。

(2)役員＜法人格を持たない団体の場合は記入不要です。＞

法人については、登記等の内容に応じて役員全員を記載してください。
※監査役の記載漏れが散見されます。御注意ください。
 任意団体については、(1)の代表者のみを記載してください。
 また、氏名は本名で、住所は最後まで記載してください。
 この一覧は、暴力団員に該当するか否かの神奈川県警察本部長への照会のみ
 に使用し、事業内容の評価には関係しません。

- (1)当団体は、団体の意思を決定し、執行する体制を確立しています。
- (2)当団体は、自ら経理し、監査する会計組織を有しています。
- (3)当団体は、県税その他の神奈川県に対する金銭債務の支払に滞納がありません（ただし、地方税法第15条に基づく徴収猶予を受けている場合を除く）。
- (4)当団体は、暴力団ではありません。
- (5)当団体は、代表者又は役員（法人格を持たない団体にあつては、代表者）のうちに暴力団員に該当する者はありません。
- (6)団体の役員等氏名一覧に記載した全ての者は、前号に該当するか否かの確認のために個人情報
を神奈川県警察本部長に提供することを同意しています。
- (7)申請内容及び添付資料に記載された情報に偽りはありません。情報に偽りがあることが発覚し
た場合には、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

(1)～(7)をよく確認して誓約してください。誓約がないと補助金を交付できません

誓約	上に記載のとおり	誓約します
----	----------	-------

4 補助事業の内容

このシートは必ず入力が必要です。

(★) の欄は、「(4) 地域固有の伝統芸能及び民俗芸能（特採事業の申請）」の付録と併記する場合は記載不要です。

(1)ふりがな	まるまるちいきぶんかげいじゅつまつりに一ぜろに一ごー				
(2)事業名	〇〇地域文化芸術まつり2025				
(3)事業分野 主たるものに◎を選択 従たるもの（任意）に○を選択 ※従たるものは複数可	文学	◎ 音楽	美術	写真	「その他」を選択した場合は括弧内に分野を記入
	演劇	○ 舞踊	伝統芸能	芸能（民俗芸能を除く。）	
	民俗芸能	生活文化	国民娯楽	その他（	）
(4)事業実施日 ★	始	令和7年11月8日	～	終	令和7年11月9日
(5)実施会場名 ★	〇〇中央公園				
(6)会場所在地 ★	△△市西八幡△-△-△				
(7)	〇〇地域は～～～という課題を抱えている。〇〇市は、この課題を解決するために、令和7年11月8日及び9日に、〇〇中央公園で実施する。このイベントでは、地元出身のアーティストが参加し、また、△△と協働して…				
(8)実施内容	令和7年11月8日及び9日に、〇〇中央公園で実施する。 このイベントでは、地元出身のアーティストが参加し、また、△△と協働して…				
(9)新たな事業であることを説明 (いずれかを選択の上、説明を記入)	☒ 申請者が過去に実施していない事業 補足説明 今まで〇〇市が主催していたが、それを引継ぎ申請団体が初めて実施する事業である。 ☐ 申請者が過去に実施した事業に新たな取組を加える事業 新たな取組の内容 ☐ 前年度採択事業の継続 採択初年度 採択時の新たな取組の内容				

(10)対象者、参加目標人数、広報の手法	集客目標××人 ○～～～をターゲットとした広報として ○音楽やダンスに興味のある人の目に触 の・・・・をターゲットとしたSNSの有料						○達成目標は可能な限り定量的に示してください。例：何名、会場定員の何割、視聴回数何回など ○広報の手法は、不特定多数への事業公開を重視する本補助金の重要なポイントです。効果的な訴求方法を提案してください。	
(11)主催・共催・助成・協賛・後援等とその内容 ※予定を含む ★	区分	団体等名						
	主催	かながわ劇団						
	共催	〇〇市						
	協賛	～～～商店街					広報協力	
(12)入場料又は視聴料の有無 ★	無		(13)有の場合 価格	円から				円
(14)翌年度以降の取組内容（予定）	イ 翌年度（ 令和8 年度）							
	今回の実施結果を・・・・した上で継続し・・・						補助事業を実施した後、関連する取組や団体運営をどのように発展させていくか3年目までの構想を書いてください。 ※今回採択されても、3年間の採択を保証するものではありません。	
	ウ 翌々年度（ 令和9 年度）							
	令和7年度・8年度の取組を発展させ、新たに							
(15)過去の採択実績	令和6年度	無	令和5年度	無	令和4年度	無		
(16)前年度に本補助金の交付を受け、本年度も継続して申請する場合 前年度目標の達成度合いの検証	この欄は、前年度に採択を受けた団体のみ記載してください。 前年度の目標達成状況から、指標や数値設定の適切さ、事業の改善点等を記載してください。 PDCAサイクルを回して事業を発展させていく意欲と能力を確認します。							

5 補助金交付に係る希望の内容

このシートは必ず入力が必要です

(1)希望申請区分及び交付申請額 ※複数可。ただし、(3)と(4)の両方を選択することは不可。 ※複数の区分を申請した場合、採択（交付決定）の際には認定された区分の中から最も高い額の交付申請があったものとします。	交付申請額		1,353,000 円	
	希望申請区分		申請区分別の額	
	☐	(1)共生社（高齢者）		円
	☒	(2)地域活性化を	1,353,000 円	
	☐	(3)地域固有の伝統芸能及び民俗芸能に関する事業		
	☐	(4)地域固有の伝統芸能に関する事業		
	☐	(5)若年層に対する事業		
	☒	(6)通常事業	1,000,000 円	
※特認が不認定でも交付を希望する場合を含む				
(2)事業期間	始	令和7年4月1日	～	終 令和7年12月31日
(3)事業期間における具体的な業務スケジュール	4月 ステージ企画参加 7月 チラシの作成開始 8月 チラシ完成、広報 12月 精算 事業期間内すべてのスケジュールを記入してください 補助事業に着手してから完了するまでの期間を記載（令和7年8月29日※から令和8年3月31日までの間 ※（3）に交付決定前に着手（経費の支出）をせざるを得ない適切な理由を記載すれば、始期を4月1日からとすることが可能）。事業期間内に発注し、請求書を受領したものが補助対象経費となります。事業期間が短くなりすぎないよう御注意ください。			
交付決定前に着手する場合、理由	交付決定後の着手では出演者の 事業期間の始期を8/29以前としている場合に記入してください			
(4)概算払の希望	希望 する			
概算払を希望する場合、必要性	4月～10月に経費を支払う必要があるため 概算払いを希望する 概算払を希望する場合、早期に資金が必要となる理由を記入してください			

<申請区分(1)共生社会の理念普及につながる事業（高齢者・障がい者・多文化共生等）>

6 特認区分要件該当性

(1)の申請を希望しない場合は、このシートは記入不要です。
非表示にしてください。

当てはまる方を選択してください。

☐	①共生社会（高齢者・障がい者等） 運営者、主要な出演者、参加者又は入場者等のいずれかについて、概ね2分の1以上が高齢者や障がい者などの文化芸術に参加することが困難な方となるよう意図的に企画している
☐	②共生社会（多文化共生等） 実施により、多文化共生等様々な特性を持つ者同士の相互理解につながる

【①を選択した場合に記入】

参加見込み人数（意図的に企画している部分のみ記入）（単位：人）

		運営者	主要な出演者、 参加者	入場者	その他
	高齢者 (65歳以上の方)				
	障がい者 (その他文化芸術に参加 することが困難な方)				
	小計				
その他の人数					
合計					

割合				
----	--	--	--	--

補足事項 (主要な出演者の説明や、協働 する施設、募集方法など、「意 図的に」の説明)	
--	--

【②を選択した場合に記入】

この事業の実施により、なぜ様々な特性を持つ者同士の相互理解につながるのか、その理由を具体的に記入してください。

--

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金		
自己負担		
収入合計 (支出合計と一致)		

支出の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
補助対象経費		
補助対象経費計(a)		
補助対象外経費	補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額	
補助対象外経費計(b)		
支出合計(a+b)		

<申請区分(2)地域が主体で文化芸術活動を通じて地域活性化を図る事業>

6 特認区分要件該当性

事業実施会場周辺の住民や商店、自治会等地域の様々な関係者が、主催者やスタッフ、協力者として実施に関与していることの説明をしてください。

関与している者	有限会社〇〇（地域の町工場）	関与の内容	資金の拠出、実行委員会への参加、〇〇企画（当日の企画）の実施
関与している者	××自治会	関与の内容	実行委員会への参加、当日のボランティアスタッフ
関与している者	△△商店街	関与の内容	資金の拠出、実行委員会への参加、当日の〇〇企画の実施、当日の出店の出展
関与している者	～～小学校	関与の内容	児童の出演

※申請者が実行委員会の場合は、構成員名簿を提出してください。

どのように地域の様々な方を巻き込み一体となって文化芸術活動を通じた地域活性化に取り組むのか、具体的に説明してください。

地域の商店街が発起したイベントであり、地元の〇〇大学の街おこしサークルや、〇〇高校の〇〇部、〇〇小学校、地域に所在する〇〇会社、地域在住のアーティストと実行委員会を立ち上げて…

事業を実施することで、どのように地域活性化が図られるのか、具体的に説明してください。

イベントを実施することにより、〇〇や〇〇といった効果が見込まれ、…〇〇により地域活性化を図る

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金	1,353,000	$(4,360,000 - 300,000) \times 1/3 = 1,353,333 \dots$
□□市補助金	300,000	
協賛金	300,000	交渉中
ステータス	100,000	20,000円×5組
物販売上	100,000	Tシャツ1,500円×30枚=45,000、リストバンド1,000×30個=30,000、缶バッジセット500×50組=25,000
自己負担	3,101,000	
収入合計 (支出合計と一致)	5,254,000	

○千円未満切捨て
○補助対象経費の1/2より大きい場合は赤く着色されます

未確定の協賛金は補助対象経費から控除しません。交渉中と記入してください。

不要な行は非表示にしてください

自己負担がマイナスの申請は認められません

支出の部

単位：円

項目	予算額	内訳
広報宣伝費	300,000	チラシ作成デザイン費100,000、チラシ印刷費100,000、インターネット有料広告50,000、パンフレット印刷料20,000、ポスター代30,000
文芸費	1,000,000	舞台監督500,000、舞台美術100,000、衣装費400,000
舞台費	1,200,000	照明機材600,000、舞台美術費100,000、舞台設営費500,000
出演料	1,000,000	〇〇楽団
制作費	620,000	当日スタッフ人件費
備品購入	160,000	今回の事業には〇〇が必要不可欠であるが、レンタルをするよりも購入するほうが費用を安く抑えることができるため
宿泊費	80,000	今回特別ゲストとして招聘する〇〇楽団のうち×人は、△△在住であることから8/22～23に宿泊が必要である。
補助対象経費計(a)	4,360,000	
補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額	436,000	
ケータリング	403,000	
グッズ制作	55,000	
補助対象外経費計(b)	894,000	
支出合計(a+b)	5,254,000	

合計が一致するようにしてください

できる限り単価×数量を記入してください

税抜

10万円以上の備品購入や修繕を行う場合（手引きp10参照）は、ここで必要性を説明してください

不要な行は非表示にしてください

宿泊費は誰がいつどういう理由で宿泊するのか説明を記入してください

※通常、補助対象経費のうち、不課税取引を除いた額の10%

不要な行は非表示にしてください

補助対象外経費は税込で記入してください

<申請区分(3)地域固有の伝統芸能及び民俗芸能に関する事業（当年度の公開事業）>

6 特認区分要件該当性

(3)の申請を希望しない場合は、このシートは記入不要です。
非表示にしてください。

伝承地域	
おおよその開始時期	
内容、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能であることの説明	

7 補助事業の収支予算

収入の部 単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金		
自己負担		
収入合計 (支出合計と一致)		

支出の部

単位：円

項目		予算額	積算内訳
補助対象経費			
補助対象経費計(a)			
補助対象外経費	補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額		
補助対象外経費計(b)			
支出合計(a+b)			

<申請区分(4)地域固有の伝統芸能及び民俗芸能に関する事業（将来事業の準備）>

6 特認区分要件該当性

(4)の申請を希望しない場合は、このシートは記入不要です。
非表示にしてください。

伝承地域	
およその開始時期	
内容、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能であることの説明	

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金		
自己負担		
収入合計 (支出合計と一致)		

支出の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
補助対象経費		
補助対象経費計(a)		
補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額		
補助対象外経費計(b)		
支出合計(a+b)		

<申請区分(5)若年者を文化芸術に携わる人材として育成する事業>

6 特認区分要件該当性

(5)の申請を希望しない場合は、このシートは記入不要です。
非表示にしてください。

※若年者とは、実施年度の4/2時

全体の参加 見込み人数		人	若年者の参加者 見込み人数	人
若年者を文化 芸術に携わる 者として育成 するものであ ることの説明	事業の 目的			
	事業の 内容			

7 補助事業の収支予算

収入の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
神奈川県マグカル展開促進補助金		
自己負担		
収入合計 (支出合計と一致)		

支出の部

単位：円

項目		予算額	積算内訳
補助対象経費			
補助対象経費計(a)			
補助対象外経費	補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額		
補助対象外経費計(b)			
支出合計(a+b)			

6 補助事業の収支予算<(6)を希望する場合及び特認が認められていない場合>

収入の部

単位：円

項目	予算額	
神奈川県マグカル展開促進補助金	1,000,000	$(4,350,000 - 300,000) \times 1/3 = 1,353,333 \dots$
□□市補助金	300,000	
協賛金	300,000	交渉中
ステータス	100,000	20,000円×5組
物販売上	100,000	Tシャツ1,500円×30枚=45,000、リストバンド1,000×30個=30,000、缶バッジセット500×50組=25,000
自己負担	3,454,000	
収入合計 (支出合計と一致)	5,254,000	

○千円未満切捨て
○補助対象経費の1/2より大きい場合は赤く着色されます

未確定の協賛金は補助対象経費から控除しません。交渉中と記入してください。

不要な行は非表示にしてください

自己負担がマイナスの申請は認められません

支出の部

単位：円

項目	予算額	積算内訳
広報宣伝費	300,000	チラシ作成デザイン費100,000、チラシ印刷費100,000、インターネット有料公告50,000、××紙掲載料20,000、ポスティング料10,000
文芸費	1,000,000	舞台監督500,000、舞台美術100,000、衣装100,000
舞台費	1,200,000	照明機600,000、舞台美術費100,000、舞台設営費600,000
出演料	1,000,000	〇〇楽団
制作費	620,000	当日スタッフ人20,000
備品購入費	160,000	今回の事業には〇〇が必要不可欠であるが、レンタルをするよりも購入するほうが費用を安く抑えることができるため
宿泊費	80,000	今回特別ゲストとして招聘する〇〇楽団のうち×人は、△△在住であることから8/22～23に宿泊が必要である。
補助対象経費計(a)	4,360,000	
補助対象外経費		
補助対象経費に係る消費税及び地方消費税相当額	436,000	
ケータリング	403,000	
グッズ制作	55,000	
補助対象外経費計(b)	894,000	
支出合計(a+b)	5,254,000	

合計が一致するようにしてください

できる限り単価×数量を記入してください

税抜

不要な行は非表示にしてください

10万円以上の備品購入や修繕を行う場合（手引きp10参照）は、ここで必要性を説明してください

宿泊費は誰がどういう理由で宿泊するのか説明を記入してください

不要な行は非表示にしてください

※通常、補助対象経費のうち、不課税取引を除いた額の10%

補助対象外経費は税込で記入してください